フィトゥラ（人の自然の天性にそぐう）のスンナ

[日本語]

من سنن الفطرة

[اللغة اليابانية]

ムハンマド・ブン・イブラーヒーム・アッ＝トゥワイジリー

محمد بن إبراهيم التويجري

翻訳者： サイード佐藤

ترجمة: سعيد ساتو

校閲者： ファーティマ佐藤

مراجعة: فاطمة ساتو

海外ダアワ啓発援助オフィス組織（リヤド市ラブワ地区）

المكتب التعاوني للدعوة وتوعية الجاليات بالربوة بمدينة الرياض

1428 – 2007

3－*フィトゥラ（人の自然の天性にそぐう物事）*のスンナ

① ***スィワーク***[1]**：**それは口を清浄にし、主をご満悦させます。

● **スィワークの仕方：**

右手、あるいは左手でスィワークを持ち、歯茎と歯をこすります。口の右側から始めるようにし、時々スィワークを舌の脇に挟んだりします。

● スィワークには*アラーク*[2]かオリーブの若木、あるいは乾燥したナツメヤシの木の枝などを用います。

● **スィワークの位置づけ：**

スィワークするのはいつでもスンナですが、特に次に示すような場合において推奨されます：

ウドゥー[3]の時。*サラー*（礼拝）前。クルアーンの読誦の前。家に入る時。夜中にサラーする時。口臭が変化してきた時。

アブー・フライラ（彼にアッラーのご満悦あれ）によれば、預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は言いました：「もし私のウンマ（共同体）にとって - あるいは “もし人々にとって” - 難儀とならなかったとしたら、私は各礼拝時にスィワークを命じたであろう。」（アル＝ブハーリーとムスリムの伝承[4]）

② ***ヒターン*（割礼）：**それは尿や汚物が溜まってしまわないよう、男性器の亀頭部を覆っている包皮部分を切除することです。

● **ヒターンの位置づけ：**男性にとっては義務[5]で、女性にとってはスンナ[6]です。

③ **口ひげを切り、あごひげを伸ばすこと：**

イブン・ウマル（彼らにアッラーのご満悦あれ）によれば、預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は言いました：「*シルク*[7]の徒と相違せよ。あごひげを伸ばし、口ひげを切るのだ。」（アル＝ブハーリーとムスリムの伝承[8]）

---

[1] 訳者注：歯磨き用に用いる、ある特定の種類の小枝のこと。

[2] 訳者注：学名 Salvadora Persica という植物。英名は Toothbrush Tree です。

[3] 訳者注：詳しくはこの章の「4．ウドゥー」の項を参照のこと。

[4] サヒーフ・アル＝ブハーリー（887）、サヒーフ・ムスリム（252）。文章はアル＝ブハーリーのもの。

[5] 訳者注：4 大法学派のシャーフィー学派とハンバリー学派で義務となっていますが、他の 2 学派ではスンナです（ワハバ・アッ＝ズハイリー著「イスラーム法とその法的典拠」より）。

[6] 訳者注：女性の場合はヒターンではなく、「ハフド」と呼称され、陰核の包皮の上部を切除します。4 大法学派のシャーフィー学派とハンバリー学派で義務となっていますが、他の 2 学派では「高貴な行い」とされています（ワハバ・アッ＝ズハイリー著「イスラーム法とその法的典拠」より）。

④ 陰毛を剃り、脇の毛を抜き、爪を切り、指の付け根を洗うこと：

1－アブー・フライラ（彼にアッラーのご満悦あれ）によれば、預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は言いました：「フィトゥラには5つある（あるいは“これら5つはフィトゥラである”）：“ヒターン（割礼)。陰毛を剃ること。腋毛を抜くこと。爪を切ること。口ひげを切ること。”」（アル＝ブハーリーとムスリムの伝承[9]）

2－アーイシャ（彼女にアッラーのご満悦あれ）は言いました：「アッラーの使徒（彼にアッラーからの平安と祝福あれ）は言いました：“（これら）10（の物事）はフィトゥラである：口ひげを切ること。あごひげを伸ばすこと。スィワーク。水で鼻を洗浄すること。爪を切ること。指の付け根を洗うこと。腋毛を抜くこと。陰毛を剃ること。水の節約。”」ムスアブはこう言っています：「私は10番目を忘れてしまったが、恐らくうがいであったと思う。」（ムスリムの伝承[10]）

3－アナス・ブン・マーリク（彼にアッラーのご満悦あれ）は言いました：「私たちは口ひげと爪を切り、腋毛を抜き、陰毛を剃ることを40夜以上放棄してはならない、との期限を定められた。」（ムスリムの伝承[11]）

⑤ 香水などをつけること[12]：

⑥ 髪の毛をいたわり、油を塗ったり、櫛でとかしたりすること：

カザア - 頭部の一部を剃って、他の一部を残すような髪形にすること - は禁じられています。

⑦ 白髪をヘンナ[13]で染め、隠すこと：

ジャービル・ブン・アブドッラー（彼らにアッラーのご満悦あれ）は言いました：「マッカ開放の日にアブー・クハーファが連れて来られましたが、彼の頭部とあごひげはヒソップの花のように真っ白でした。それでアッラーの使徒（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は言いました：“それを何かで（他の色に）変えよ。但し黒は避けるのだ。”」（ムスリムの伝承[14]）

---

7 訳者注：詳しくは「タウヒードとイーマーン」の章の「シルク」の項を参照のこと。
8 サヒーフ・アル＝ブハーリー（5892)、サヒーフ・ムスリム（259)。文章はアル＝ブハーリーのもの。
9 サヒーフ・アル＝ブハーリー（5889)、サヒーフ・ムスリム（257)。文章はアル＝ブハーリーのもの。
10 サヒーフ・ムスリム（261)。
11 サヒーフ・ムスリム（258)。
12 訳者注：女性の場合、香水を身に付けて外出することは禁じられています。
13 訳者注：頭髪や髭、手足や爪などの染料や薬品として用いられる植物の1種。
14 サヒーフ・ムスリム（2102)。